

降灰対策について



岩下 礼治

助金は阿蘇市が受け入れて申請者に交付しますが、阿蘇市からの補助金はありません。

プレミアム付き商品券について

岩下 P R等の対応が遅かったのではないかな。

佐伯まちづくり課長 4月に実行委員会を立ち上げ内容を検討し広報あそ6月号に掲載し周知してきまして。

岩下 昨年の秋のキャベツ・白菜は商品にならず鋤き込まれてしまった。萩の草地域のリンドウ栽培も同様であり、雨よけハウスの詳細を伺いたい。

本山農政課長

根本的に露地栽培から施設園芸に作物転換し、安定的な収入を得る方向で国の火山周辺地域防災営農対策事業での取り組みをしたく県が要望し認められた。よって市は計画を作り県へ出すことにしています。

岩下

近隣市町村に所有する農地も対象と考えてよいかな。

農政課長

農業関連の補助事業は阿蘇市内の農地（属地主義）、もしくは、阿蘇市内に居住している人（属人主義）を基本に対象要件としております。

岩下

属地主義なら市外の耕作者が借地で土地を利用している場合、その者も補助対象者になるのか。

農政課長

なります。国や県の補

自主防災組織の強化とこいの村経営移譲について



河崎 徳雄

こいの村経営移譲について

河崎 阿蘇いこいの村、経営移譲の趣旨、目的は何なのか。

佐伯まちづくり課長 民間活力を導入し、いこいの村の持つ機能、宿泊、レストラン等と併せて新たな事業を取り入れ持続した運営の出来る業者、活用計画の提案を受けて最適な業者を選定しております。

河崎 選定された業者名は。

まちづくり課長 数社の中から最適業者で（株）阿蘇アグリスクエアが選定されました。

河崎 休館している阿蘇いこいの村の修繕、隠れた瑕疵とは何か。どのような契約内容か。

まちづくり課長 設備等の修繕は（株）阿蘇アグリスクエアの負担であり市は一切の責任を負いません。

河崎 選定で大きく評価された三つの事業の温泉等は今だ開始されてない。詐欺みたいな行為と思う。契約履行させるのが行政の役割であり、責務ではないか。

吉良経済部長 その件につきましては顧問弁護士の方に相談しております。

河崎 27年度の賃借料は納付されているのか。

まちづくり課長 本年度内で2回の分納予定です。

河崎 梅雨に入り、土砂災害、浸水災害、又火山噴火も心配です。市では、先の災害の教訓を生かし、3回の避難訓練、明るい内の予防的避難にも取り組み、又防災対策室を設置し、防災意識の向上に努められているが、地域の支え助け合いを深め、生命財産を守る自主防災の更なる充実強化策の取り組みと、避難所に看板を設置するなど、住民の防災意識の高揚に取り組むべきではないか。

高木総務課長 ほとんどの行政区が17年度、自主防災組織を設立されています。区長さん、社協等、関係者と連携を図り、活動内容、計画を充実させることが今後、より重要と考えています。

河崎 昼間の火災等で消火活動が出来ない地区に機能別団員制度の導入計画はあるのか。

総務課長 メリット・デメリットがあるかと思うが、分団長以上会議等で協議を進めます。

阿蘇市の子育て支援と天空の道について



五嶋 義行

待機児童はゼロです。

五嶋 子育て関連施設の整備は。

福祉課長 家庭の支援として子育て支援センターを設けて、子育て支援を積極的にしており、各種関連事業として延長保育、一時保育を行い、病児、病後児保育も阿蘇医療センターでスペースの確保をしております。

天空の道について

五嶋 天空の道観光対策は。

市原観光課長 各種情報機関誌、メディア等に多く取り上げられ、多数の見物客がある状況です。観光サイドとしては、新しい観光資源として、狩尾原野内に、展望所、遊歩道、駐車場などの整備計画をしており、設計委託を発注済みです。しかし当計画地域は国立公園の第3種特別地域であり、環境省、警察、熊本県、地域を含めた、調整、協議が必要です。

この計画は平成27年からの5ヶ年間で、需要の調査を行ったアンケートの結果から急激な過不足は生じないと思っております。もし過不足が生じた場合は公立の保育園で調整します。

山口福祉課長

この計画は平成27年からの5ヶ年間で、需要の調査を行ったアンケートの結果から急激な過不足は生じないと思っております。もし過不足が生じた場合は公立の保育園で調整します。

五嶋

保育園の待機児童の実態が明らかにされていないがその実態は。

福祉課長

保育園を選べば待たされる可能性はありますが、厚労省の定める待機児童にはなりませんので、



天空の道

住宅リフォーム制度実施について



竹原 祐一

を削減する事により市民全体が喜ぶ住宅リフォーム制度を実現することは可能だが。

建設課長

確かに小国町の事例あたりを見ると、魅力的な事業ではあるかと思いますが、今後、定住化促進等を含め、関係各課及び財政当局とも相談をしながら検討できればと思います。

他に「立野ダム建設・就学援助金制度の医療券・申請方法について」質問がありました。

竹原

今、47都道府県すべてで実地されている住宅リフォーム制度、市民・行政・業者も喜ぶ制度だと実施自治体では話題になっていますが、阿蘇市に於いて実施は。

阿部建設課長

27年度、県内自治体15市町村で実地されていますが、阿蘇市に於きましては具体的に導入の方向では検討はしていない状況です。

竹原

実施をした自治体から、小規模事業者の仕事確保を含め地域の経済効果が非常に高いと評価されています。少額からの助成を進めて頂きたい。

建設課長

今後の市の財政状況及び他市町村等の実施状況も考慮しながら、今後検討していければと思っています。

竹原

小国町では、136万円の補助金で工事総額5475万円、実に、41倍の経済効果がありました。この阿蘇市に於いても同和対策予算



住宅改修工事風景

特定健診の重要性について



田中 弘子

田中 平成26年度の受診率と各病名の年齢別の数を。また、透析など生活習慣病に起因する医療費は。

藤田ほけん課長 平成26年度は、

2333人の方々に受診していただき、受診率は42%でした。生活習慣病については、本年2月のデータで年齢別の患者さんは表1のとおりとなっています。なお、透析患者さんは社会保険と合わせて107名いらっしゃいます。また、生活習慣病が重症化し手術を要することとなった場合などの医療費はおよそ表2のとおりです。

表1

国民健康保険レセプトデータ

年 齢	糖尿病	高血圧症
70歳以上	357	732
60歳以上	534	980
50歳以上	120	223
50歳未満	59	81

表2

一人当たり費用額

	虚血性心疾患	脳血管疾患
手術月医療費	約350万円	約137万円
年間医療費	約570万円	約700万円

このように、生活習慣病が重症化すると高額な医療費がかかることとなります。市民の方々の医療費負担を軽減するため、そして何より命を守るためにも特定健診を受診していただき、早期発見早期治療につなげていきたいと考えています。

田中 薬の残留対策は。
ほけん課長 2013年に厚生労働省が薬局を対象に残薬調査を行なっています。約9割の患者さんが「飲み残したことがある。」と回答されています。飲み残しを減少させると29億円の医療費が抑制できるとの試算もあることから適切な服薬管理を図るため、健康教室や家庭訪問の機会に「お薬手帳」の有効活用を勧め、飲み残しがないように、指導・啓発に取り組んでいきたいと考えています。

他に「認定こども園・現在残っている保育園の見直しについて」質問がありました。



血圧測定風景

全国市議会議長会表彰受賞者

第91回全国市議会議長会が、本年6月17日、東京都日比谷公会堂において開催され、全国市議会議長会表彰規定に基づき、表彰が行われ、その伝達が今回の定例会において議長より行われました。今回表彰を受けられた方は、平成17年の2月阿蘇市発足時も一の宮町の議員であった古木孝宏議員で副議長歴4年を務められ、地方自治の発展と振興に貢献された功績に対し表彰されたものです。

また、平成27年2月まで議員として就任されていましたが川端忠義氏にも今回10年表彰が贈られました。



受章された前副議長の古木議員



川端前議員

【表彰規定】

- ・4年以上市議会の正副議長にある者又はあった者。
- ・10年以上及び15年以上市議会議員の職にある者又はあった者。